

4 徳島県立文学書道館【24,680千円】

文学・書道資料の収集・保存、調査研究に努めるとともに、その成果を展示や催し、教育普及事業等に活かし、広く県内外から親まれる施設となるよう魅力ある事業展開を図る。

(1) 顕彰、表彰事業【1,650千円】

	事業名	概要	金額(円)
1	第24回とくしま文学賞	<p>広く県民から文芸作品(小説・脚本・文芸評論・児童文学・随筆・現代詩・短歌・俳句・川柳・連句の10部門)を募集し、発表の場を提供することにより文芸活動の活性化、県民文化の向上を図る。各部門の入選作品は、「文芸とくしま」に掲載する。</p> <p>応募締切:令和8年9月30日(水)当日消印有効 発表:12月中旬(新聞紙上・館内掲示・HP) 表彰式:令和9年2月11日(木・祝)</p>	1,650,000
	小計		1,650,000

(2) 年鑑編集・刊行事業【350千円】

	事業名	概要	金額(円)
1	研究紀要「水脈」23号	<p>館が所蔵する文学者や書家に関する作品や資料等の調査研究を行い、その成果を紹介するために刊行する。</p> <p>B5版サイズ 700部 販売価格:無料配布</p>	350,000
	小計		350,000

(3) 教育普及育成事業【4,467千円】

	事業名	概要	金額(円)
1	文学講座 小説創作講座	<p>文芸雑誌で文芸評論や書評を手掛けながら、大学などで文章表現などの指導を行ってきた清水良典氏による創作講座。受講生の潜在的な力を開花させる指導方法は巧みで、令和8年度も引き続き開講する。</p> <p>日時:令和8年6月～10月(全5回) 会場:講座室</p>	550,000
2	文学講座 芸術・文化を語る	<p>徳島ゆかりの芸術家・文化人に専門分野の話をしていただき、芸術・文化への関心を深めてもらう。</p> <p>日時:令和8年6月～9月(全4回) 会場:講座室</p>	550,000
3	第6回 原爆朗読劇 「夏の雲は忘れない」	<p>原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」を朗読サークルに所属するメンバーと鳴門教育大学附属小学校の児童たちが上演する。朗読、スライド投影、ピアノ演奏を融合させながら、平和のメッセージを届ける。</p> <p>日時:令和8年8月9日(日) 会場:ギャラリー</p>	500,000

## (3) 教育普及育成事業

	事業名	概要	金額(円)
4	第25回言の葉朗読会	朗読愛好家がそれぞれ選んだ文学作品を5分以内で朗読する。朗読を楽しみ、朗読の質の向上をめざす人たちに舞台を提供し、朗読を聞くことが好きな人たちにその機会を設ける。  日時: 令和8年9月 会場: 講座室	10,000
5	秋の文学講演会 I・II	第一線で活躍している作家、詩人、歌人、俳人などを招いて、これまでの歩み、自作について、創作の方法などのテーマで話してもらい、文学と芸術、世界と人間の在り方について理解を深める。  日時: 令和8年10月～11月(全2回) 会場: ギャラリー	550,000
6	書道講座 現代書家による席上揮毫	美術館などで書道作品を鑑賞する機会はあるけれども、書家が揮毫する様子を見る機会は少ない。書道界の第一線で活躍している書家を招き、席上揮毫をしてもらうほか、揮毫作品の制作意図や技術的なこと、書に対する自身の考え、書道道具へのこだわりなどを語ってもらう。講座終了後にロビーで揮毫作品展を開催する。  日時: 令和8年10月 会場: ロビー	330,000
7	書道講座 書道講演会	書の専門家、評論家、美術館学芸員、書や筆・墨・硯・紙に関する本の著者、話題の人などを講師に招き、書への理解を深めてもらい、書に興味を持つ人や書道人口の増加につなげる。  日時: 未定 会場: ギャラリー	182,000
8	書道講座 書道実技講座	書道技法、篆刻、料紙づくり、表装、水墨画など書に関わる専門的な実技講座。書の技術の向上を図り、書道愛好家を増やしたい。作品は当館ロビーに展示する。  日時: 未定(全3回) 会場: 実習室	199,000
9	書道ワークショップ 手形アート×書 思い出を色紙に	未就学児から小学生と保護者対象のワークショップ。色紙に参加者の手形を押し、名前や好きな言葉などを筆書きし、こどもの日や七五三の記念に持ち帰ってもらう。四国大学と連携し、これまで来館したことがない子どもたちに筆書きの良さを知ってもらい、来館者増を図る。  日時: 令和8年5月4日(月・祝)～5月5日(火・祝)、11月(全3回) 会場: ギャラリー	60,000

## (3) 教育普及育成事業

	事業名	概要	金額(円)
10	書道講座 夏休み・こども書道教室 半紙作品を仕上げよう	小学生対象の講座。夏休みの自由課題にある書写コンクールの半紙作品を職員の指導で仕上げる。コンクール入賞を目標に、毛筆で書く楽しさを知ってもらう。  日時: 令和9年7月～8月 会場: 実習室	11,000
11	書道講座 新春 書き初め 大字に挑戦!	小学生対象の講座。新年の書き初めにちなんで、好きな漢字一字を特大筆(全長46cm・穂長14.5cm・穂径4cm)で68×70cmの紙に書く。大字を書くことで、書に親しみ、書の楽しさを知ってもらう。  日時: 令和9年1月11日(月・祝) 会場: 講座室・実習室	45,000
12	ことのはロビーコンサート	文学書道館に対する「敷居が高そう」「入りづらい」などのイメージを払拭し、気軽に音楽と文学・書道のつながりを楽しんでもらう。各回に招く演奏者には、言葉や文学にまつわる曲、開催中の展覧会に関わる曲などをプログラムに組み込んでもらい、文学書道館ならではの独自性も出す。  日時: 令和8年5月～令和9年3月(全6回) 会場: ロビー	1,480,000
	小計		4,467,000

## (4) 展示事業 【18,213千円】

	事業名	概要	金額(円)
1	文学常設展 瀬戸内寂聴記念室  (常設展示事業)	瀬戸内寂聴の人生の歩みと寂聴文学を紹介する。京都・嵯峨野「寂庵」を模した書斎や、心和む日本庭園を設置している。また、年1回、寂聴の企画展を開催する。  期間: 通年 会場: 瀬戸内寂聴記念室	—
2	文学常設展 文学常設展示室  (常設展示事業)	徳島ゆかりの文学者とその作品、著名作家が徳島を描いた文学作品などをさまざまな角度から紹介している。展示室では、企画展も開催している。  期間: 通年 会場: 文学常設展示室	—
3	文学常設展 収蔵展示室  (常設展示事業)	瀬戸内寂聴寄贈による日本近代女性史の貴重な研究資料など、豊富な資料を保管している収蔵庫内をガラス越しに公開している。また、特別展に関連した展示や収蔵品の紹介も行う。  期間: 通年 会場: 収蔵展示室	—

## (4) 展示事業

	事業名	概要	金額(円)
4	書道常設展 書道美術常設展示室  (常設展示事業)	収蔵品の中から、徳島ゆかりの書家の作品を中心に展示している。また、小坂奇石の息づかいが感じられる書齋を再現している。年3回展示替えをし、豊富な作品を幅広く紹介する。  期間: 通年 会場: 書道美術常設展示室	—
5	文学特別展 海野十三と日本SF  (特別展示事業)	話題を呼んだ「海野十三と日本SF」展(世田谷文学館、2025年)を海野十三の出身地である徳島でも開催する。海野の日本SF黎明期における位置、戦争体験、戦後の日本SFへの影響などを紹介し、海野十三の足跡とその影響の大きさを伝える。世田谷ではなかった、徳島との関わりに焦点を当てたコーナーも設ける。  期間: 令和8年4月18日(土)～6月28日(日) 63日間 会場: 特別展示室・収蔵展示室	3,713,000
6	書道特別展 戦後日本「新しい書」のかたち  (特別展示事業)	2025年夏に成田山書道美術館で開催された展覧会。書作品の収蔵数日本一を誇る同館が所蔵する、戦後に制作された前衛的な傾向の書作品を中心に、約100点を2期に分けて展示し、新しい書の表現を紹介する。  期間: 前期 令和8年7月4日(土)～8月16日(日) 38日間 後期 令和8年8月20日(木)～9月27日(日) 35日間 会場: 特別展示室・ギャラリー・書道美術常設展示室	4,030,000
7	文学特別展 林芙美子展  (特別展示事業)	自伝的小説「放浪記」の大ヒットで一躍国民的作家となった林芙美子。その生い立ちには謎が多く、「放浪記」の中には徳島滞在の記述が見て取れる。本展では、林芙美子徳島滞在説の真偽に迫りつつ、林芙美子の生涯と、時代を経ても人を引きつけて止まないその魅力に迫る。  期間: 令和8年10月3日(土)～12月27日(日) 74日間 会場: 特別展示室・収蔵展示室	3,917,000
8	書道特別展 没後20年 劉蒼居展  (特別展示事業)	徳島ゆかりの書家・劉蒼居(りゅう・そうきょ)の代表作を展示する。漢字・調和体作品で独自の書作品を確立し、今もなお徳島に多くの弟子が残る、劉蒼居の書の魅力に迫る。  期間: 令和9年1月9日(土)～3月14日(日) 56日間 会場: 特別展示室・書道美術常設展示室	4,320,000
9	文学企画展 瀬戸内寂聴記念室中央展示  (企画展示事業)	鳴門市出身の映画監督・浜野佐知氏の新作「金子文子ー何が私をこうさせたか」が徳島で上映されるのに合わせ、アナキスト・金子文子の壮絶な生を描いた瀬戸内寂聴『余白の春』を紹介する。  期間: 令和8年4月16日(木)～令和9年3月22日(月・祝) 290日間 会場: 瀬戸内寂聴記念室	10,000

## (4) 展示事業

	事業名	概要	金額(円)
10	文学企画展 福田利之 装画の世界  (企画展示事業)	徳島市在住のイラストレーター・福田利之氏が装画を担当した書籍を原画とともに展示する。 カズオ・イングロ「クララとお日さま」、町田そのこ「52ヘルツのクジラたち」、江國香織「やわらかなレタス」などの表紙原画約20点を展示し、福田氏の制作意図も併せて紹介する。  期間:令和8年8月4日(火)～10月25日(日) 73日間 会場:文学常設展示室	500,000
11	書道企画展 2026年度・書道コレクション展 小坂奇石  (企画展示事業)	館蔵の小坂奇石作品の中から約20点を展示する。 当館には遺族や関係者からの寄贈品を中心に約500点の奇石作品が収蔵されている。未公開や新収蔵の作品を積極的に公開し、徳島ゆかり書家である奇石の書の魅力を伝える。  期間:令和8年8月18日(火)～10月25日(日) 61日間 会場:書道美術常設展示室	279,000
12	書道企画展 2026年度・書道コレクション展 中林梧竹  (企画展示事業)	館蔵の中林梧竹作品の中から約20点を展示する。 当館には梧竹を支援し、作品を収集した海老塚の伝氏から徳島県に寄贈された傑作を中心に約400点の梧竹作品が収蔵されている。未公開や新収蔵の作品を積極的に公開し、梧竹の書の魅力を伝える。  期間:令和8年10月28日(水)～12月27日(日) 53日間 会場:書道美術常設展示室	279,000
13	書道企画展 第11回 書道創作グランプリ  (企画展示事業)	徳島県内の小学4年生から高校生までを対象とする書道コンクール。作品応募による予選を行い、予選通過者を対象に当館で本選を実施。本選当日に課題を発表し、お手本なしで創作する全国でも稀なコンクールである。席書作品270点と招待参加者の作品を展示し、各学年・部門のグランプリ、準グランプリ、優秀賞受賞者90人を表彰する。  期間:令和8年12月12日(土)～12月20日(日) 8日間 会場:ギャラリー	865,000
14	文学企画展 生誕120年 歌人・保科千代次  (企画展示事業)	保科千代次は徳島県勝浦郡勝浦町に生まれ、教師として国語教育に力を注ぐ一方、歌人としても活躍した。文学への清らかな情熱と高い志は教育の場でも発揮され、教え子の中には瀬戸内寂聴や佃實夫らの名も見られる。県内の文芸振興と人材育成に寄与した保科の人生と作品を紹介する。  期間:令和8年12月23日(水)～令和9年3月22日(月・祝) 73日間 会場:文学常設展示室	300,000
	小計		18,213,000
	合計		24,680,000